

## 2022年度 事業所による自己評価表

児童発達支援事業所 ぽぷり和光教室

回答職員数 6名 公表日: 2023年7月8日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6		
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	6		より多くの利用者様に支援ができるように、職員数の増員を目指しています。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	6		各セラピールームに名前を付けて、写真とひらがなで表示したり、トイレの入口に文字と絵でわかりやすい表示をつけています。洗面所には絵で手洗いの順番を表示しています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	6		
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	6		
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6		
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6		
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		6	
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6		本社代表による研修を定期的に行っている他、関連機関のセミナーや外部セミナーに参加の機会を設けてスタッフの資質の向上に努めています。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	6		
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6		
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	6		
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	6		
	14 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6		チームで担当するグループ療育では、支援内容、それぞれのお子さんの目標、サポート方法など細かく確認して、分担しています。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
	15 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6		グループ療育では、その日のお子さんの状況を振り返り、共有し、今後どのようにプログラムに活かしていくか話し合います。個別療育では、お子さんやご家族に必要な対応があればスタッフ間で共有する、振り返って疑問や確認するところがあれば、児童発達支援管理者に相談するなど次の療育に活かしています。
	16 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6		担当者は記録を取りながら、数回行ってもお子さんが習得できていない課題について把握し、プログラムの見直しをすると共に、児童発達支援責任者やスーパーバイザーのアドバイスを受けながら、改善につなげるよう努めています。
	17 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	6		
保護者への説明責任等	18 障害児相談支援事業所のサービス 担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6		
	19 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか		6	
	20 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	6		
	21 移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	6		
	22 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		6	保護者の方のご意向などによって、他事業所や関連機関の支援内容等を共有させていただくことはありますが、助言や研修を受ける機会はありません。
	23 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6		
	24 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	6		親御さん同室でセラピーを行っているので、お子さんとの関り方、対応方法などのアドバイスを常に行っています。来年度は家庭支援プログラムをより具体的に定めてスタッフが行えるよう研修し、ご家族の支援に繋げていきます。
	25 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6		
	26 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	6		
	27 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6		
28 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6		日頃から担当者と児童発達支援管理者との間で情報を共有しており、必要に思われるとき、または保護者様から相談の申入れがあった時には、児童発達支援管理者が対応しています。	
29 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6		個別療育のため、日頃の活動や行事をお伝えする会報は必要ありませんが、日程や必要な連絡事項は公式LINEを通じて発信しています。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
	30	個人情報の取扱いに十分注意しているか	6		
	31	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6		ほとんどが保護者同室のセラピーのため、毎回お子さんへの支援を見ていただき、情報をお伝えしたり、ご質問を伺ったりしています。
	32	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		6	施設が小さいため、地域の方に事業所の行事にご参加いただいたり、ボランティアを受け入れることが難しいですが、小さなことからご近所の方々とお子さんたちが関われる機会を考えていきます。
非常時等の対応	33	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	6		緊急時対応マニュアルは常に廊下に掲示し、毎年3つの避難訓練を行っていますが、一部の方しか参加できないため、参加できなかった方へは直接マニュアルを配布しご理解いただくよう務めます。
	34	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6		
	35	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	6		初回のインテークにて伺っています。
	36	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		6	食事の提供の機会はありません。
	37	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		6	事業所内での事例を共有し大きな事故に繋がらないよう日頃から注意します。
	38	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6		
	39	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	6		